

平成26年度後期開催講座

会場：星薬科大学

月日	講座名	時間	受講料	講座内容	単位
10/18 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア ●ゲノムの進化でがんを理解する 谷内田 真一 (国立がん研究センター研究所) ○【症例検討】	2
10/19 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30 17:00	2,000円	がん化学療法 一歩踏み出すために ●がん患者の感染症診療について 沖中 敬二 (国立がん研究センター中央病院) ●消化管がんの化学療法 up to date 高島 淳生 (国立がん研究センター中央病院)	2
11/1 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア ●解剖・生理学から考えるがん治療と基本手技 井上 大輔 (順天堂大学附属順天堂医院) ○【症例検討】	2
11/9 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30 17:00	2,000円	乳がん治療 up to date ●乳がんの疫学・診断・検診について 片岡 健 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院) ●乳がん治療最前線―標準治療と個別化の間にて― 中村 清吾 (昭和大学医学部)	2
11/30 (日)	新規開講 第1回日本くすりと食品機能 フォーラム	13:00 17:50	3,000円	(1)「科学的根拠に基づいた健康食品の機能性、有効性および安全性 ～ヒト臨床試験の位置づけ～」 吉川 敏一 (京都府立医科大学学長) (2)「コラーゲンペプチドの製品～エビデンスと作用メカニズム～」 小山 洋一 (株式会社ニッピバイオマトリクス研究所) (3)「還元型コエンザイムQ10 (ユビキノール) の生理作用」 藤井 健志 (カネカ株式会社事業部) ◇講演概要・受講者の声・受講者概要・受講者理解度を <u>こちらよりご覧いただけます。</u>	※ 3
12/6 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア ●新規がん疼痛治療薬について考える 山口 重樹 (獨協医科大学医学部) ○【症例検討】	2
12/7 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 17:00	2,000円	高血圧治療 up to date ●あえて質問します。高血圧って何？ ～まだできることがあるはず～ 岸 拓弥 (九州大学大学院医学研究院) ●アディポサイトカインから高血圧治療を考える 山脇 英之 (北里大学獣医学部)	2
2/11 (水) 祝日	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 17:00	2,000円	脳神経疾患の診断と治療 ●脳動脈瘤治療 開頭手術と脳血管内手術 小野寺 英孝 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科) ●顔面の痛み・ピクツキの原因と外科治療 田中 雄一郎 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科)	2
2/22 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 17:00	2,000円	腎泌尿器疾患治療 up to date ●新規薬剤による排尿改善薬物治療の実地臨床 中村 薫 (中村クリニック泌尿科) ●慢性腎臓病の管理を血圧変動性から考える 竜崎 宗和 (東京都済生会中央病院腎臓内科)	2※
3/7 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3,000円	がん化学療法と緩和ケア ●癌の痛みの基礎と臨床 川股 知之 (和歌山県立医科大学麻酔科) ○【症例検討】	2
3/8 (日)	日本肥満学会連携講座	13:30 17:00	2,000円	生活習慣病改善指導 ●生活習慣病・自尊感情・薬剤師 篠宮 正樹 (小象の会・西船内科) ●新時代を迎えた2型糖尿病治療 一個別化治療の実際― 麻生 好正 (獨協医科大学内分分泌代謝内科)	2※
10月 11月	社会人大学院 (夜間開講) 講義受講コース	19:00 21:00	3,000円	詳細はこちらをクリック  http://www.hoshi.ac.jp/site/nintei/pdf/h26yakan2.pdf	1.5

・本予定は変更させていただく場合がございます。変更等のお知らせは本学ホームページでご確認ください。

・大学院講義連携セミナーは日本緩和医療薬学会の後援を得ているため、本学認定単位または日本緩和医療薬学会認定単位のいずれかを選択することができます。

※11/30の第1回日本くすりと食品機能フォーラム、2/22の講演会シリーズならびに3/8の日本肥満学会連携講座は、本学(G11)あるいは日本薬剤師研修センター(G01)いずれかの認定単位を選択することができます。また3/8の日本肥満学会連携講座は日本肥満学会と共催のため、希望者には生活習慣病改善指導士の認定試験申請資格に関わる単位(2単位)が付与されます。